

# 風神襲来!ミラクル澤村、一気に実力制名人

ひるむおとなたち、手に負えない強さに脱帽。女流は池ママに決定。

校庭の落ち葉を鉄人大竹が掃いている。朝のうち降った雨はすでに上がったが、ひんやりした空気が年の瀬を感じさせる。一年間戦った勇者たちが、思い思いの感傷を胸に集まってくる。私たちはその総決算ともいうべき、第三期名人戦ファイナルを、11月14日(日)北町小学校で決行した。

まずは「ペチャ戦(エキシビジョン)」から。平べったいペチャは床入れがむずかしい。だから、NIBとしても躊躇して、いままで封印してきたわけだが、案ずるより生むがやすしだ。なんて事ないね、みんな難なく床入れできた。決勝に残ったのは松ちゃん、釣人今村、名人中島、グッチ、ミラクル、カズ渡辺の6人。小学生が3人も残ったもんなあ、NIBの小学生はうまいよ。しかし、こういう時に強いのが松ちゃんなんです。中高のときもそうだったし、今回もラストに決めて優勝だ。このペチャ戦、それなりの面白さがあるので、タイトルにする価値はあり?かな。

さて、今年のハイライトは何といても「名人戦」だ。前回まで暫定トップのトシ田口は、他の大会の参加依頼で止むを得ず欠席。残念!(でも優勝したよ)。2位のMr.高橋勝点72。3位ラッキー会長、4位ホッシーの争いと思っていたら、ミラクル澤村が久々に顔を見せた。暫定順位は25位、勝点32、対戦者20人を残しての登場だ。ペチャ戦を軽くいなしたミラクルは、いつもと変わらぬさわやかな横顔が初々しい。ヨーッ、千両役者!対戦を多く残したミラクルには専用床が置かれ、次から次へと対戦をこなして行く。一方、名人に一番近い男Mr.高橋だが、まみい、グッチに引分け勝点を伸ばせない。あきらめたのか、Mr.の表情はかたい。満を持してファイナルに乗り込んだホッシーも、ラッキー、篠ケンをねじ伏せるが、並木姉御にすっ飛ばされ初タイトルが遠のく。ラッキーにいたっては話のほかだ。飛ばすミラクル、伸び悩むおとなたち。それでも意地を見せたのが中島加工名人だ。ミラクルのケツをきれいに狙い打ち、左手のガッツポーズをみんな見逃さなかったよ。あー、しかし、ミラクルのなで斬りは続く。くずれないフォーム、しなる腕、勝っても一喜一憂しない冷静さ、その集中力は求道者のようだ。ファイナルを前に優勝ラインを90点前後とみていたが、終わってみれば99点。2位のホッシーに7点差をつけての優勝はすばらしい。女流は並木姉御の急追を振り切った池ママが、練板オープンに続き



ミラクル澤村、池ママおめでとう!



今期2冠目をゲット。実力制名人戦は来年も新規参加者を加え、ますますむずかしい戦いになりそうだ。



## シリーズ 田口コレクション 第12

これは珍しい、岩手県は南部鉄でできたベーゴマ。へこんだ中に突起がでていて、六角なのは初めて見た。黒光りしたその姿は、歴戦をかいくぐった証なのかな。